

八王子支部ニュース

Tel : 042(623)1141 Fax : 042(627)8741

E-mail : sensei@tokyoso-hachioji.com & hachioji-tu@nifty.com

HP

e-mail



あなたの声を社会へ、世界へ、組合はあなたがつくれます

都教組八王子支部大会が開かれました

都教組八王子支部大会が、6月8日、八王子駅前のクリエイトホールにて開催されました。年々行事等の都合で出席が困難さを増す中、1時間休暇を取ってご参加された組合員の皆さん、お疲れさまでした。一年の運動方針をはじめ議事日程を滞りなく進行することができました。限られた時間ではありましたが、内容のある討論・交流の場をもつことができました。アンケートには、

有意義な時間。
初めて参加して
勉強になった。

希望が湧いた。

交流がとて
もよかった。

『特別支援教育』の
現状がよくわかった

心強かった。交流が
とてもよかった。

などとともに、ハラスメント（5校）、時間外会議（6校）、ゴミ袋問題（3校）など共通の課題も寄せられました。組合員の皆さんからの一つひとつの言葉を大切に、運動をさらに前へ進めるため執行部もタイムリーに行動提起していきます。何卒、ご支援、ご協力よろしくお願いします。



～特別支援を担当している

執行部井上さんの発言から～



昨年、全都で1万筆を超えた特別支援関連の署名、八王子は1200筆を集め都議会に提出した。本来指導期限が1年だったが、延長して2年間指導できることが都議会でも確認された。これは組合運動の大きな成果である。しかし、児童12人に教員1人の指導を、児童10人に教員1人の指導に戻すことはできなかった。（裏面に続く）

支部大会採決用紙まだ未提出の方

◎6月30日（木曜日）までに、必ず支部へ届けてください。

年度始め、減らした教員を 35 人の通常級へ配置しても、通常級はもとより特別支援学級にさえ 4 月に教員が来なかったところがかかなりあった。

せめて、特別支援学級の児童 10 人に教員 1 人の指導に戻すべきである。必要な支援を必要な期間保証できる教育でなくてはならない。

特別支援教室、特別支援学級で 30 人を超えているところも増えてきている。特別支援教育の実践を作っていくために今後学習会をやっていきたい。

去年の市教委交渉で、八王子市は『子どもの不利益にならぬように』と回答を得た。八王子市では市教委も考えていることがわかったが、全都では『2 年で』と言っているところもある。今後もさらに運動を強めていきたい。(要約)

～グループ交流で見えてきたこと①～ (要約)

- ・子ども達の荒れがひどく、暴言、暴力、脱走などで授業が成立しないことも。特に低学年で顕著である。



- ・管理職も先生達も頑張っているが人手不足。
- ・コロナ禍で、午前中 5 時間授業、朝の会 5 分、中休み 10 分では、子どもの話を聞いてあげる暇もない。先生も子どもも追いつめられている。
- ・毎年連続で初任の方が辞めている。1 校経験で異動してきた方も 3 年で異動してしまう。
- ・特別支援教室の担任で、今日も土砂降りの中、教材を勤務校にバスで運び、翌日の勤務校のことを

考えて自宅にバスで持ち帰るのは本当に辛い。また、給食費の申告や PC 使用環境、コピー機を借りる時の遠慮、教材作成、アウェイに勤務するのは辛い。

- ・子どもたちは学力も言葉の力もついていない。不登校児が多い。
- ・学童を併設しているが、学童希望者が年々増え、校舎を学童で使う割合が増えている。他校でも、午後だけ特別支援教室を学童に一時使用し、日常的に学童の備品を置いていところもあるようだ。人数に見合う学童施設を確保してほしい。
- ・どんな家族なのか、どんな趣味なのか、教員同士つながりがないので知らない。
- ・職員会議は指導連絡会という。学校評価もない。
- ・ウクライナの戦争の影響か、米軍の飛行機が多くうるさくて声が聞こえ辛い。
- ・校長は 5 時半までに必ず帰り、主幹は 9 時過ぎまで必ず残業。
- ・休憩時間に会議などは当たり前に行っている。
- ・コロナ禍になって以来初めて異動された方たちと数人で集まるので楽しみ。
- ・働き方改革を言う前校長が非常勤教員に加え多くの講師を取り、今でも 1 年生から音楽、2 年生から図工は専科である。多忙な中、すごく助かっている。

6 つのグループに分かれて交流する中で、多くの職場で様々な課題が出てきました。支部として解決に向けて市へ働きかけます。学校が特定される内容は、紙上では割愛させていただきました。引き続き次号でもお知らせしていきます。